

船舶事故調査報告書

平成22年3月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年3月11日 23時54分ごろ落水した。）
発生場所	不明（千葉県浦安市浦安南沖 浦安DGPS局から真方位162° 2,700m付近（概位 北緯35° 35.6′ 東経139° 54.4′）で落水した。）
事故調査の経過	平成21年3月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{たきまる} 瀧丸、9.7トン CB2-55055（漁船登録番号）、個人所有 14.76m (Lr) × 3.99m × 1.37m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、平成2年6月11日
乗組員等に関する情報	船長 男性 62歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年9月5日 免許証交付日 平成17年8月1日 (平成22年10月21日まで有効) 甲板員 男性 70歳
死傷者等	死亡 1人（甲板員）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年3月11日16時10分ごろ、船長と甲板員が乗り組み、千葉県富津市富津漁港を出港し、同県浦安市沖で小型底引き網漁業の操業中、船長は、風浪により船体が動揺する中、マストの近くにある油圧装置を操作して揚網作業を行っていたところ、23時54分ごろ、甲板員が落水しているのを見たが、暗くて見失った。 甲板員は、翌12日11時20分ごろ、京葉シーバース灯から085° 4,500m付近に浮いているところを発見され、漂流中に急性心筋梗塞を発症して死亡したものと検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 5、気温 約5.3℃ 海象：水温 約11℃、波高 約70cm
その他の事項	船長及び甲板員は救命胴衣を着用していた。 甲板員の服装は白ヘルメット、青色合羽上下、オレンジ色救命胴衣であった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 死因は、急性心筋梗塞であった。 甲板員は、救命胴衣を着用して、水温約11℃の海中に落水し、低水温の海中を漂流中に急性心筋梗塞を発症したものと考えられる。 甲板員は、浦安市沖において揚網作業中、風浪により船体が動揺する中、バランスを崩したか、あるいは宙吊りとなった網が体に当たったことにより落水した可能性があると考えられるが、船長は甲板員が落水するところを見ていなかったことから、落水の状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が浦安市沖において揚網作業中、甲板員が落水したため、発生したものと考えられる。	